

今週の大阪・関西万博 **週報** (8/6～8/19)
 ～ 開催まで あと **236** 日です! ～



1. 海外パビリオンの状況

□ 8/8 (木)、ポーランドがパビリオン起工式を開催。パビリオンテーマは「未来を切り拓く遺産」。パビリオンは、持続可能性に配慮して木材を用い、日本が誇る伝統の木組み工法を採り入れつつ、編んだような螺旋壁でポーランド人の創造性と革新の精神を押し寄せる波のように表現する。



【出展】左：起工式の様子 <https://expo.gov.pl/news/inauguration-of-the-construction-of-the-poland-pavilion-for-expo-2025-osaka-kansai/?lang=en>

右：パビリオンイメージ <https://www.expo2025.or.jp/official-participant/poland/>



□ 8/6 (火)、ベルギーがInstagram上で棟上げまでの建築過程を公開。7月1日から建屋の建築が始まり、7月31日に躯体の骨組みが組み上がるまでの過程をタイムラプス動画として視聴可能。



【出展】 https://www.instagram.com/belexpo_belgianpavilion/



【現在の参加国等の状況】 (8月8日現在)

- ・ 161 か国・9 国際機関が参加表明済み。
うち、公式参加契約締結国数：125 か国・5 国際機関
- うち、
 - ・ 各国独自パビリオン（タイプ A（47 か国）、タイプ X（5 か国））：52 か国
- ※ タイプ A 国 47 か国のうち、
 - ・ 施工事業者が決まった国：43 か国
 - ・ 着工済みの国：39 か国
- ・ 協会用意の単独館（タイプ B）：17 か国
- ・ 協会用意の共同館（タイプ C）：92 か国

2. 今週・先週・先々週の主な活動

□ 8/6（火）齋藤大臣は、大阪・関西万博の会場となる大阪市此花区の夢洲を訪れ、政府が出展するパビリオン「日本館」の建設現場を視察。「日本館の躯体（くたい）が組みあがり、その姿が現れ始めていた。来年の開幕に向けた期待感を嵩揚た」とコメント。



8/7（水）、8/8（木）こども霞が関見学デーにおいて、経済産業省に万博ブースを設置。ミyakumiyakuが合計 3500 人の来場者とふれあった。齋藤大臣もブースを訪れ、こどもたちに万博への来場を呼びかけた。8/8（木）には自見大臣室でこどもたちとの交流イベントが行われ、大臣を囲んでミyakumiyakuとの記念撮影が行われるなど万博についての周知を図った。



- 8/12（月）、8/13（火）徳島県で開催された日本三大盆踊りの一つである阿波踊りに経済産業省および博覧会協会が万博の PR ブースを出展。ミyakumiyakuも参加し、国内外からの多くの訪問客に対してノベルティやパンフレットを配布し万博をPRした。



- 8/14(水) 教育機関向け「修学旅行等における 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の活用に関する説明会について、説明資料およびアーカイブ動画を掲載。質問は引き続き 8/23（金）17:00 まで受け付け、主なものについては後日 HP で回答予定。



博覧会協会 HP :

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240814-01/>



内閣官房万博事務局 HP :

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/topics/topics_2025_setsumeikai.html



- 8/15(木) 大阪・関西万博の新しいパンフレットが完成し、博覧会協会 HP で公開された。万博の魅力や見どころを広く伝え、万博への期待感を醸成することを目的として作成されたもの。今後、外国語版パンフレット（英／中（簡体・繁体）／韓／仏／タイ語版）も順次作成し、HP で公表予定。

- ・【閲覧用/PDF ファイル:5MB】

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/20240815_panf_jp_eturan.pdf



- ・【印刷用/PDF ファイル:5MB】

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/20240809_panf_jp_insatu.pdf





3. チケット販売の状況

◇ チケット販売枚数 : 424 万 8,034 枚 (2024 年 8 月 14 日現在)